

土砂災害がおきる前にできること

花笠小学校 五年 あらいあやか 新井彩月

私が調べたきっかけは、最近地震や土砂災害がたくさんおこっているのを逃げかたや、備えておくものを知っておくことが大切だと思ひ調べました。特に私の家の前には川がありこれまでも何度か今にもあふれそうになり不安な思ひをしたことがあるのでよく知っておきたいなと思ひたからです。

土砂災害には大きく分けて三種類あります。

一つ目は土石流です。大雨などが原因で山や谷の土、石、砂などがくずれ水とまじってどろどろになり、一気に流れ出てくる現象です。はかい力が大きく、速度もはやいので大きな被害をもたらします。

二つ目は地すべりです。比かくてきゆるいかたむきの斜面が雨や雪解け水がしみこんだ地面が大きなかたまりのまま動きます。地すべりが動く速さはふつうは目に見えないほどゆっくりですが、一気に動くこともあります。

また、一つの場所でも何十年にもわたって少しづつ動く地すべりもあれば、地震などがきっかけでとつぜんおきる地すべりもあります。

三つ目はがけ崩れです。急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。雨水がかげにたくさんしみこんだことが現因で起きたり地震のゆれによって起きたりします。一気に大量の土砂がくずれ落ちてくるためがけの下にいる人にはげおくれることが多いです。

この三つの中で心に残ったのは地すべりで、私がすんでいる福井では昭和二十八年に洪水がおき死者を百十六人、行方不明者を二十一人だしました。そして平成元年には越前町の国道三百五号線で、道路わきのかげが高さ七メートル、はば三十メートルにわたって崩落し走行中のマイクロバスがまきこまれたという災害が同じ福井でおきているからとてもこわい気持ちになりました。

いつ災害がおきてもいいようにハザードマップを確認しておくことが大切だともい、

私のすんでいる越前市のハザードマップを確認しました。私のかよう花筐小学校は洪水、急けいしゃ、土石流、地すべりがおきた場合にはひなん所としては使えないことがハザードマップから分かりました。

その理由はか去にしん水したところがあり、またこのさき一日間に百八十六ミリ以上の大雨になったさいにはゆか下しん水のおそれがあるためです。

逆に自宅は土砂災害けいかい区域に該当し

ていないため、すぐひなんできる様に備物をじゅんびして様子を見る方が安全だと思いました。ただ、山にもかこまれているし大きな町へひなんする道はほとんどしんすいくいきになっっているため、はやめのひなんも必要だと思っています。

次に備えておく物を調べました。災害がおきた場合、電気がとまるおそれもあるため私の家はオール電化なのでほとんどの物が使えなくなります。まづ、電気がつかないのか

ん電池で使えるかい中電灯が必要だと思いま
した。次にお湯がわかせなかったり電子レン
ジなどを使えなくなります。なのでお茶をわ
かせなかり、お風呂にも入れなかったり
します。だから水をかっておいたり火をと
さなくても食べれるかんずめやクツキーな
をかっておくといいです。でももしおゆをわ
かせるのならカッポラーメンやレトルト食品、
あたたがいスーフなどもめまう。カセット
コンロやすみを使ったバーベキューピットを
もっておくといいです。

今回調べて見て分かったことは、大洪水が
おきたら、山へにげると思っていたけど山に
にげたら地すべりや、がけくずれがおきるか
もしれないから山にはにげないことが分りま
した。そしてひなん場所と書いていた所をハ
ザードマップをかくにんしたら、ひなん場所
にはなっていないところから災害がおきて
から、かくにんするのではなくふたんからか
くにんしておくことが大切だと思いました。